

令和5年度 学校運営評価（学校教職員評価）結果

1 評価方法

令和4年度の学校運営評価は、9分野 26 項目について、4段階評価で行った。

[4：十分に満たしている 3：満たしている 2：改善の余地がある 1：改善が必要]

2 学校運営評価結果

| 評価項目 | 主な内容 | 評価結果 |
|---------------|--|------|
| I 学校経営 | 学校の組織運営、コンプライアンスの重視、組織全体のチーム力 (3項目) | 3.0 |
| II 教育課程・教育活動 | 教育目標、教育内容、授業・実習 授業評価・実習評価の活用 (5項目) | 3.1 |
| III 学習成果 | 単位取得への支援、国家試験対策、退学率の低減 (3項目) | 3.3 |
| IV 入学・卒業対策 | 入学応募者確保、就職・進路支援 卒業生への支援 (3項目) | 3.2 |
| V 学生生活への支援 | 健康管理、自主的な活動への支援、 学生意見の反映 (3項目) | 3.0 |
| VI 財政、施設設備の管理 | 適正な予算の執行管理、非常時の危機 管理体制、学校の建物・設備、学習の場 の確保 (4項目) | 3.1 |
| VII 教職員の能力向上 | 看護教育力向上への努力、能力向上に 対する支援 (2項目) | 2.9 |
| VIII 広報・地域活動 | 広報活動、地域社会の一員としての貢献 (2項目) | 3.1 |
| IX 各校独自項目 | 職員間の協力による働きやすい環境づくり (1項目) | 2.6 |

3 学校運営評価結果の概要

- I 学校経営：教職員が協力し合って対応してきたが、教職員相互の情報共有・連携を一層推進し、チーム力を向上させる必要がある。
- II 教育課程・教育活動：「専門職連携教育」により専門領域を超えた連携・協働を学ぶ授業を開始した。臨地実習に関しては実習病院等と緊密に連携し、理解と協力を得て実施した。
- III 学習成果：1年次より国家試験対策を意識した授業や、教員全員による補講の実施などに取り組んだ。令和4年度卒業生の国家試験合格率は100%を達成した。教員による面接、専門のカウンセラーによるカウンセリング、個別指導等により学びの支援を行った。
- IV 入学・卒業対策：1年次より就職活動ガイダンスを行い、また実習病院等によるブース形式の就職説明会を開催するなど、就職支援の一層の充実を図った。学校説明会において学校の魅力の訴求に努めた。
- V 学生生活への支援：学生アンケートをもとに施設設備の改善を行った。学生のカウンセリングが適切な環境で行えるよう回数増や設備の改善を図った。コロナ禍で休止している学生のボランティア活動について学生の自主性を尊重しつつ今後の検討が求められる。
- VI 財政、施設設備の管理：教材や施設設備の整備・補修等を適時実施した。
- VII 教職員の能力向上：研修・学会参加等、工夫しながら能力向上への取組を実施しているが、多忙により取組時間を確保できないという課題がある。
- VIII 広報・地域活動：学校・授業紹介の動画をホームページで公開する等の工夫により学校の魅力のPRに努めた。学校祭を5年ぶりに一般公開し好評であった。
- IX 独自項目：教員が業務多忙で休暇や研修の機会が十分にとれない状況が継続している。相互協力と働きやすい環境づくりに一層取り組む必要がある。